

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	早稲田大学				
取 組 名 称	多文化・多言語社会に向けての教養教育				
取組学部等	国際教養学部				
申 請 区 分	教育課程の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A11136	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	教養教育	外国語			
キーワード	国際教養, 外国語教育の強化, 多文化・多元主義, グローバルネットワークセンター, アジア圏のリベラルアーツ共同体の実現				

<選定理由>

本取組は、これまで支援を受けて進めてきた「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の実績に基づき、申請学部の「国際性」と「教養」を重視した教育理念の実現を一層推進しようとするものである。特に、従来から重視してきた英語教育に加えて、非英語教育、とりわけアジアの言語の教育を推進し、アジア諸国への留学を促進するとともに、アジアの諸大学間でリベラルアーツ共同体を構築し、我が国の学士課程教育変革の起爆剤を目指すというもので、目的・手法ともに評価できる優れた取組である。

しかしながら、本取組の成果、とりわけ学生の学習成果が不明確であり、本取組を通じて国際性や教養が獲得されたかどうかのアセスメントへの取組が不十分である。また、リベラルアーツ共同体の構築が、どのように学生の学習へ還元されるのかの具体の記述にも欠けている。

これらの点の改善が進み、より優れた成果が生まれることを期待する。

取組の概要【1ページ以内】

早稲田大学国際教養学部（以下、SILSと略す）は、「国際教養」という新しい教育理念をカリキュラム化した先駆者として日本の教育界を牽引してきた。SILSに続く形で、現在では約20の大学に国際教養学部や類似の学部・学科が開設されるに至っている。SILSは留学システムの開発ならびにその運用のためにも膨大な財力と人力を投入してきた。完成年度を迎え、この留学の制度化によって、世界との知のネットワーク（学校行政レベル、教育・研究者レベル、学生レベルなどにおける）の構築が可能となり、そこで蓄積された財産を広く社会に還元することは本学部の使命であると考えます。今回の教育GPの公的資金を活用させていただくことで、「教養教育」、「外国語教育」の2つに重点を置いた教育事業を実施し、社会の要請に応える国際教養教育の質をさらに高め、かつ後発の国際教養学部開設大学のモデルとなることをめざしたい。また、この取組はアジア圏の大学間ネットワークを強化し、教育のみならず研究面での向上も大きく期待できるものである。

一つ目のプロジェクトとしては「外国語教育の強化」に取り組むたい。1年間の海外留学が必須となっている本学部生に特化した「外国語教育」強化プログラムを導入し、あわせて留学前後の多様な教育プログラムを提供し、留学およびキャリア形成の質的向上をはかりたい。留学は派遣も受入もともに高いコストのかかる教育であるが、工夫次第ではその高い負担が貴重な教育・研究資源に転換する可能性を秘めている。その転換装置の開発を試みたい。SILSは「多文化主義・多元主義」のもと、国際性を追求している。この目標を真に達成するためには、英語圏のみならず非英語圏への留学生の数を増加させることが必要である。非英語圏への留学希望者は増加傾向にあり、2008年度はSILS総留学生のうち5人に1人が非英語圏に留学することになっている。前年度まで支援を受けた現代GPでは英語教育を主要な内容としたが、今回の教育GPでは、多言語教育ならびに非英語圏への留学支援策を強化したい。とりわけ開発途上国への留学やインターンシップを開発し、奨励することは、広い意味における「国際性」の実現のための重要な条件である。また、日本の国際化を実現するためには、学部の3分の1を占める留学生に対するキャリア・サポートを行うことが大変重要であり、この取組もあわせて実施したい。

① SILSグローバルネットワークセンターの設立、②非英語圏への留学対策の強化、③外国人留学生へのキャリア・サポート

二つ目のプロジェクトとしては、「アジア圏のリベラルアーツ共同体の実現」に取り組むたい。SILSにおける教養教育は、広く世界において活躍する人材の養成を目的としている。早稲田大学がとりわけ力を入れてきたアジア圏の有力大学とのリベラルアーツ・ネットワークを構築し、新たな時代に相応しい知の形成を目指したい。これはアジア圏における教養教育の学術交流プロジェクトである。留学生の数が圧倒的に多く、かつ授業が英語で行われ、外国の大学の教員や学生との交流が容易である本学部のメリットを生かして、以下のプロジェクトを実施したい。

①アジア圏の有力大学の研究者の招請、②本学部教員のアジア圏有力大学への派遣、③共同セミナー、シンポジウム等の開催